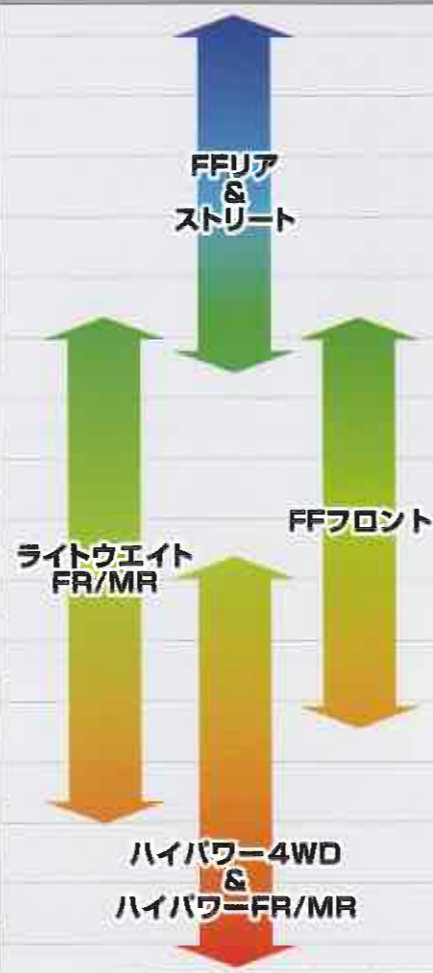


**ZONE** 全16摩材ラインナップ 2012年12月より新定価となりました

摩材品番	制動力レベル	推奨使用温度域	希望小売価格(税込)
80M	40	常温~400℃	¥10,500
82J	46	常温~400℃	¥10,500
86A	50	常温~400℃	¥11,550
88B	52	常温~400℃	¥11,550
89R	56	常温~450℃	¥12,600
03C	58	常温~600℃	¥16,800
04M	59	常温~600℃	¥16,800
05K	60	常温~600℃	¥16,800
08H	64	200~600℃	¥17,850
10F	70	常温~650℃	¥17,850
12D	76	200~650℃	¥18,900
14B	80	200~680℃	¥18,900
18E	85	200~680℃	¥19,950
53C	88	200~680℃	¥22,050
55A	94	200~700℃	¥24,150
58D	98	300~750℃	¥26,250



※ZONEは、オーダーメイド方式です。商品は、ご注文から約7~10日でのお届けとなります。  
 ※制動力レベルは、最小を「0」、最大を「100」とし、純正パッドの効きが「45」となるように表記しています。  
 ※推奨使用温度域の下限が、常温表記ではない摩材は、表記温度までパッド・ローターの磨耗が推奨使用温度時より少し多くなることから、常温表記をしております。  
 ※ストリート等での効きに関しては、問題なくご使用いただけるレベルです。  
 ※輸入車や、レーシングキャリアなどは上記価格に特別料金が加算されます。

**ZONE** 通正摩材はホームページで検索しよう! [www.bm-zone.com](http://www.bm-zone.com) zone ブレーキパッド

事前にマッチング確認を行った車輛は、「車種別マッチングリスト」にて、サーキット別/タイヤ別に、細かく適合摩材が表記されています。テスト条件や、各摩材のコメント、ロータ温度、ラップタイム等の情報をもとに、ブレーキの踏みはじめからリリースの終了まで、時間軸による効きの変化をグラフ化、詳しく説明しております。

摩材検索より、車重、キャリパーの種類、駆動方式、サーキット、タイヤの種類を選択していただくと、あなたの条件にあった候補摩材を表示いたします。クルマに必要なギリギリの制動力を発揮できる摩材をお選びください。

「どっちの摩材を選んだらいいの?」「前後のブレーキバランスを考えたベストな組み合わせは?」といった、細かいお悩みは、摩材チョイスホットラインから、直接田中ミノルにご相談ください。

摩材確認をはじめ、製品全般やブレーキにまつわる相談など、メールで個別に欲しい方は、こちらからお問い合わせ下さい。

※2~3営業日までは、質問についてご返答致します。

**BRAKING MEISTER**  
**ZONE**



**BRAKE PAD**  
**CIRCUIT USE**

We have released the ZONE brake pad which is made from ideally blended materials and is the best match for your cars.  
 Hope you achieve tremendous time-up by using this brake pad.

2013年改訂版

「止まる」ブレーキから、「曲がる」ためのブレーキへ

「ZONE」は、制動力が違う、16種類の摩材ラインナップから構成される、ラップタイムを更新するためのブレーキパッドブランドです。

コーナー進入時、「止まる」ために必要なタテのグリップから、ブレーキを戻しながら、ハンドルを切り込んで発生させるヨコのグリップへオーバーラップさせるために必要な、ブレーキのリリースコントロール性能。このリリースコントロールの精度の高さが、ラップタイムを短縮する、最大の生命線です。

「ZONE」は、どう止めるか(制動力)と、どうグリップさせるべきか(リリースコントロール性能)を、徹底的に追求し、開発を行いました。

試作品 400 セット強、主要サーキット延べ周回数 2500ラップオーバーのテストから、車種別/タイヤ別/サーキット別に安全適合を取り、16種類の摩材を

ラインアップ。競技車両が「ピッタリ」の効きをあわせこむように、その条件に完全適合する摩材チョイスができる。それが、「ZONE」最大のメリットであり、ラップタイムを縮めるために必要不可欠です。ブレーキペダルをリリースしはじめたときから、ダイレクトに効きがリンクする、リリースコントロール性能。ブレーキの効きとタイヤのグリップがバランスしたときの、あの「リア感」を、ぜひ ZONE で体感してください。



ドラテクマニア 田中 ミノル